

News Release

2023年11月16日

福島東稜高校
福島学院大学
NTT東日本 福島支店

「信夫山のゆず」復活プロジェクトへの協力について ～設備アセットを活用したゆず収穫の支援～

東日本電信電話株式会社 福島支店(支店長 畠山 良平、以下 NTT 東日本 福島支店)は、福島東稜高校(理事長・校長 小原 敏)、福島学院大学(学長 桜田 葉子)や福島市内6つの菓子店が連携し実施する「『信夫山のゆず』復活プロジェクト」と共同で、NTT 東日本が通信事業で培ったアセット・ノウハウ等を活用したゆずの収穫作業支援を行います。

1. 背景・目的

福島盆地のほぼ中央に位置する信夫山で収穫されるゆずは、かつて「北限のゆず」と呼ばれ、冬の風物詩となっていましたが、福島第1原発事故の影響で出荷停止となっていました。

2022年3月に11年ぶりに出荷制限は解除されたところですが、信夫山のゆず農家は減少するとともに、高齢化や後継者不足等の課題が顕在化してきています。

こうした状況や、特に高所の実の収穫は作業の安全性を含めた課題が生じているとの声を踏まえ、NTT 東日本は、通信事業で活用するケーブル撤去工具やドローン等のデジタル技術を活用し、収穫作業の支援を行います。

当社は今回の収穫作業支援をはじめ、今後も、「『信夫山のゆず』復活プロジェクト」によるゆずの栽培／流通／販路確保などの支援について協力を継続し、現場第一線で活動する社員などの地域密着力の特徴を活かし、地域の課題解決や価値創造、地域活性化に取り組んでまいります。

2. 収穫支援の実施概要

(1)開催日時

令和5年11月17日(金)10:00～11:00

(2)開催場所

信夫山の圃場 「信夫山ガイドセンター」裏 ゆず畑

(3)参加者

福島東稜高校生、福島学院大学生、生産者、NTT 東日本福島支店社員 計15名程度

(4)収穫支援等の内容

- ① 「ノボラナカッター」を活用した安全な収穫作業支援 他
- ② ドローンからの空撮による収穫作業の記録

【参考】

<「信夫山のゆず」復活プロジェクト>

福島学院大学、福島東稜高校、市内菓子店などがタッグを組んで、ゆずの栽培／流通／販路確保などの支援を行うプロジェクトです。

収穫祭の他に、ゆずスイーツの試食会や、店頭販売会を予定しています。

<ノボラナカッター>

高所作業車を使用する事なく、地上から操作棒を伸ばすことで高所のケーブル撤去作業が可能な工具です。従来、残置された多くの不要な電話線等のケーブルを高所作業車や梯子を利用し、複数名でケーブルの撤去をしておりましたが、作業工程や作業時間等の効率性、安全確保の観点から本工具が考案されました。

カッター本体の把持機能によって、切断した果実を落下させることなく確実に保持され安全に回収できます。



<ドローン>

NTT 東日本 福島支店における設備点検等の業務で使用しており、機体上下に搭載された6つのビジュアルセンサーにより、全方位障害物回避や、GPS が取得できない環境でも安定した飛行が可能な「Skydio2+ (<https://www.jiw.co.jp/sale/skydio-2/>)」を使用します。

